



昭和23年 棟方志功

No.96

平成26年6月23日

公益社団法人日本山岳会富山支部

## 第29回 播隆祭が開催されました

平成26年6月8日9:00より、富山市(旧大山町)河内地内にある播隆上人の生誕の地で、生家跡に建立された「播隆上人顕頌碑」前にて第29回の播隆祭が挙行されました。

日本山岳会富山支部の会員と中村家をはじめとする旧河内村に縁のある皆様方、一般の登山者を交え、総勢40名の参加がありました。

有澤会員の司会により、播隆上人に敬意を表して黙とうによって始まりました。山田支部長の挨拶では、先日の国会で8月11日を「山の日」という祝日にする法律が成立し、2年後からこの日が休日になることの報告がありました。

この後、生家の会世話役の大作様より歓迎のご挨拶と当時のできごとについてお話をいただきました。続いて、参加者全員が顕頌碑に焼香を行い、この後、「播隆上人」の足跡について富山支部の会員である石浦邦夫氏からお話いただきました。

明け方まで降っていた雨も止み、だんだんと日が射して来て、雨上がりの新緑が生命の息吹を感じさせる程の爽やかな天気となりました。富山支部創立50周年記念に植樹された山桜等の木々も大きくなってきています。顕頌碑の後ろにある手洗い場の僅かな水面上には、モリアオガエルの産卵塊がありました。周りの風景は播隆上人の幼少期の頃と殆ど変わっていないことを思い描きながら「播隆祭」は終了となりました。

この後、「高頭山」への記念登山が行われました。会員と他の山の会の方も含めて10名の参加で、登り3時間、下り2時間というコースタイムでした。登山口で解散して、車で帰路についていたのですが、祭典を行った場所からしばらく戻った所で、倒木が登山道をふさぐというアクシデントがありました。通りかかった地元の方が枯れ木をいくつか切断して処理し、無事開通しました。グリーンシャワーを浴びながらの山行となりました。

(事務局・河合義則 記)



## 高頭山登山道整備

施行日：2014年5月31日 晴

参加者：木戸繁良、山田信明、道正政信、島津常樹、渋谷茂、鍛冶哲郎、本郷潤一、  
金尾誠一、山岸和子、森田裕子、川田邦夫、藤條好夫(蝶の観察)

播隆祭の予定との絡みで、今年は5月31日に行くことになった。8時に木戸自動車に集まって出発した。天気も上々で、昨年よりも参加者が多かった。中一人は水道管水路付近に多く観られるアサギマダラ(蝶)の観察が目的であった。確かに昨年整備活動の時、たくさんアサギマダラの乱舞を見ることができた。

尾根道への取り付け点に昨年作った椅子が壊れていた。急登部分を補修した木製の階段も一部壊れていたが、概ね登りやすくなっている。今回は草刈機を持って参加したのは木戸、山田、島津の3名だったので、このうち2名は先に行って上部からの作業、1名は下部から順に上へ登って行った。他の人達はそれぞれ用意してきた鎌、鋸、剪定鋏などを持って登りながら作業を行った。先に進んでいる草刈機で切られた枝葉の始末も行った。中間点付近にある杉大木の切り株付近で一緒に昼食をしようと言っていたが、上部組と下部組が離れすぎていて連絡が取れず、別れて昼食をとることになった。



順調に仕事も進み、上部へ行った人達は頂上まで済ませたようだ。午後3時頃には済ませて下ろうと言っていたが、仕事に夢中になると、すぐには止められず、かなりずれこんでしまった。草刈機を使った方達は大変ご苦労だったと思う。4時過ぎに登山口まで戻り、各自乗り合わせた車で帰宅した。

(川田邦夫 記)



高頭山山頂に集まった登山道整備のメンバー

## 2014年新年親睦会と二上山山行

山行日：2014年1月27日(月)

1月26日夕に富山支部親睦会が行われた三協アルミの保養所「まんよう荘」で朝食の後、カチンカチンに氷が張った駐車場で飲み仲間達(?)と記念撮影をして「いざ出発!」。

私にとって、日本山岳会に入会させて頂いて初めての山行です。また憧れの二上山を周遊できるということで、ワクワクしながら「二上まなび交流館」に車を止めました。

最初は皆さんのペースが速く、道に雪が残っていたので歩きにくく、しんどかったです。でも青い空の下、楽しくおしゃべりをしながら城山、大師ヶ岳を巡り、城光寺の滝コース、古墳群コースを經由して、立山連峰、日本海、新湊大橋、小矢部川の蛇行等を堪能しました。

そしてこの日は「素敵なおまけ」が付きました。旧福岡町の鴨城跡がある元取山(195.8m)にも上がったのです。満足してお腹も心も満タンになった一日でした。今年が良い年になりそうです。

(森田裕子 記)

<まんよう荘での集いと翌日山行出発前>



## 『戸隠高原スキー場』 日本山岳会五支部スキー集会

実施日：2014年3月1~2日

参加者：近藤、辻、永山、島津

今回は関西地区が担当でここ戸隠になった。9時島津会員の車で走る。道々は雪もなく空はガスが立ち込めている。中国からPM2.5が流れ込んできているのだろう。

名立谷浜のPAで休憩、ここのPAは改造の最中だった。上信越道へ入るとやっと道端に雪が見え出してきた。しかし例年より随分少ない。信濃町ICからリゾートラインを飯綱高原へ走る。標高700mあたりからは一面の雪山に見事なカラマツ林が延々と続く。

この見事な唐松林は春には新緑、秋に「黄金」に紅葉するのだろうと考えながらの17kmは実に楽しいドライブだった。12時ちょっと前「戸隠越水ゲレンデ」へ到着、今日の宿舎戸隠高原ホテルはゲレンデのすぐ横だった。

ここに車を止めゲレンデへ行き明日登る「瑠璃山1748m」までリフトで上り2本滑ってチェックインする。そのうちゲレンデからぼつぼつメンバーが到着しだした。福井の宮本御大、関西の広田さん、安井さん他、一昨年富山で会った懐かしい面々の顔が見え出した。ただ顔は分かってても名前が浮かばないが皆同じようだ。

ここは温泉ではなかったが大きな湯舟で結構な湯だった。ゆっくり浸かり、6時から懇親会が始まった。最初に地区ごとに自己紹介をしあい、明日の連絡事項を確認し宴会に移った。支部ごとの持ち込みお酒も沢山でいつも通り賑やかに夜は更けていった。床に就くころ小雪がチラチラ舞っていた。

2日目、空は曇りガスが濃い。リフトで瑠璃山まで登り9時出発、ここから50mほど下りシールを装着、細尾根を登り詰めると小広い尾根となり飯綱山(1917m)と書かれた標柱が半分ほど雪に埋まっていた。瑠璃山からここまでは痩せの岩山で樹木はなく風が吹き抜けるところに瘤こぶのギャップが多く、半ば横滑りしながらゆっくり歩いて2時間30分かかった。

ここで昼食とする。テルモスに入れた湯は85度と言っていたが、やはり少々冷めていてカップラーメンも今一つの味だった。本来なら戸隠はじめ信州五山のパノラマが大展開しているのだが、すべて幽玄な霧に包まれていた。

12時20分いよいよ本日のメインイベント、中社ゲレンデまでの大滑降の始まりだ。1700mあたりまでは裸の岩山だったが、その下は樹林帯にはいり新雪が10cm程積り、雑木林は少々混んでいたが中々楽しい滑降ができた。全員無事下山したのが2時半、ホテル前で解散式を行いすべて順調に終了した。帰路、戸隠唯一の「神のお告げ温泉」へ入り「戸隠蕎麦」を食べ今回の山行の満足感を味わった。来年の当番は福井支部で、またの再開を約し皆と別れを告げた。

(近藤 晋 記)



## 手打ちそば体験・試食会と入善町舟見城周辺雪道歩こう会

### 1. 手打ちそば体験・試食会 3月8日(土) 11:00～ 日帰り・宿泊

場 所：入善町中沢 夢源工房

参加者：石浦、平田、川田、渋谷、鍛冶、菅田、河村（アシスタント 上原、藤井）

- (1) 手打ちそば体験・・・皆さん苦戦するも何とか手打ちそばが完成。
- (2) 手打ちそば試食会・・・初めて食べる自前そば、おいしいと自画自賛。
- (3) バーデン明日温泉入浴・・・美肌温泉でお肌すべすべ。
- (4) 懇親会・・・豚鍋パーティー、ほろ酔いモードで寝袋へーっ爆睡。



手打ちそば体験



手打ちそば試食会

### 2. 入善町舟見城周辺雪道歩こう会 3月9日(日) 10:00～12:00

場 所：入善町舟見山自然公園

参加者：平田、川田、渋谷、菅田、河村

夢源工房にて自炊朝食。歓談後、車で出発。10分程で自然公園の駐車場に着く。

10cm位の積雪、歩くのにはさほど支障がないと思われる。念のためかんじきを持参。

林道をつぼ足で、桜並木を横目に見ながら、登ること30分程で黒部川が眺望できる場所に出る。更に歩くこと15分程で舟見山(252m)の頂上に着く。



舟見城



谷江の堤

頂上はけっこう広く、舟見城（源平合戦の頃に築かれた山城の跡で、現在は城を模した城址館が建っている）や山の本陣（明治中期に建てられた茅葺屋根の民家を移築）が併設されている。舟見城から黒部川扇状地の素晴らしい眺めが堪能できる。

又、舟見山自然公園は「とやま森林浴の森」として指定されている。頂上の積雪は 20 cm 位でツボ足でも問題なし。天気は晴、風もなくさわやかな日である。

帰りは周遊コースで裏側林道を下り、渋谷さんから樹木の生態系についてのお話を聞きながら、谷江の堤、バーデン明日温泉経由で駐車場到着。のんびり歩き 2 時間コース。

（河村靖晴 記）

月例山行 唐堀山 1159.5m
------------------

山行日：5 月 25 日（日）

参加者：本郷潤一、山岸和子

5 月 8 日の支部役員会で急遽 5 月の月例山行を唐堀山で計画を立てたため、全会員に周知できなかったことから、当日朝木戸自動車に集合したのは二人のみ。取り止めも考えたが、天気も良いことから実行することになった。国道 41 号を南下し、猪谷から国道 360 号に入り きれいな越路トンネルを抜けたところで、左側に地藏さんが並んだ所に車を停める。すでに 7 台程駐車していた。

9 時にスタートし加賀沢橋を渡り加賀澤トンネル内の歩道を 560m 入った所にある非常口を出る。ステップが取り付けられてあり、下の道路に降りる。9：15JR 高山線の鉄橋を潜り左の道を進む。送電鉄塔の点検道と思われる比較的わかりやすい道である。登り始めてほどなく、下山者の一人と出会う。山菜のススタケはまだ 1 週間ほど早そうとの情報だった。期待薄と悟りながらもひたすら前進する。しばらくすると、先行する男女 6 人グループ（不二越山岳会）が休憩しており、傍らを追い越す。10：00 第 1 鉄塔、10：15 第 2 鉄塔、10：25 第 3 鉄塔、10：45 第 4 鉄塔と順調に登るが、この先から樹脂製の階段が、これでもかこれでもかと続く。11：20 やつとの思いで三角点に到着した。眺望はよくない。11：25 ヘリポートに着くと、ザックが置いてあって、藪の中で物色する音がする。やがて現れたジャージ姿の男性は、やはり収穫が悪いと。まず昼食をとってから我々も竹やぶの中に突入する。やつと 6 本ほど見つけるのが精一杯で、山岸さんには到底及ばない。ヘリポートでは不二越グループの他に男性 2 人が休憩中だった。不二越メンバーの中には、道中でそこそこの収穫があった人もいた。

12：50 下山開始。13：25 第 3 鉄塔、14：20 非常口へのステップに。14：35 駐車した場所に到着し帰路につく。今回出会えた花は、タムシバ、タニウツギ、ユキグニミツバツツジなど

（本郷潤一 記）



## 富山市山岳協会主催の雪山ハイク

山行日：2月11日（祝）

参加者：山田、本郷、山岸、菅田、森田他（計45名）

行程：オムサンタの森出発 9:00 → 大寺山山頂着 11:10 → 昼食後出発 12:10 → 八乙女山  
頂上着 13:00 → オムサンタの森スキー場着 15:25

閉鎖されたオムサンタの森スキー場の跡地から大寺山～八乙女山まで雪山ハイクを楽しみました。さっそく参加賞でいただいた帽子をかぶり、スノーシューや輪かんじきをつけて出発。ゲレンデにはトレースの跡があり、その上をひたすら歩き、次第に傾斜がきつくなる頃ようやくゲレンデを抜け、ほっと一息。時折小雪舞う中、無心に登り続け、一登りすると大寺山に到着しました。先に到着し、昼食を作っているグループに負けじと私達もジンギスカン



鍋を作って食しました。温かい鍋は本当においしかった。そろそろ寒くなってきたので店じまい。記念写真を撮り終え、八乙女山に出発。山頂近くにある風神堂と風穴を見ながら八乙女山頂上に到着。しばらく休んだ後、下山開始。頂上からはいくつもの踏み跡があり、遅れて出発した私達は何と迷子になってしまったのです。結局もと来た道を帰ることになってしまいましたが、途中先発隊と合流し、無事ゲレンデに戻ることができました。お疲れ様でした。

（菅田静子 記）

## 平成26年度今後の計画

- 6月22日（日） 大平山・濁谷山（中止）
- 7月19日（土）～21日（月） 飯豊山
- 8月11日（月） 例会（Cic3階、とやま市民交流館）
- 8月26日（火）～27日（水） 人形山（5支部懇親登山の下見）中根山荘泊
- 9月27日（土）～28日（日） 5支部懇親山行 五箇山荘・人形山
- 10月18日（土）～19日（日） 全国支部懇談会、埼玉支部（両神山、武甲山）
- 10月26日（日） 追悼登山 中山
- 11月16日（日） 小倉山（きのこ山行）

- ◆ 山行参加希望者は本郷山行委員長に連絡し、詳細な内容を確認して下さい。
- ◆ 「全国支部懇談会」参加希望者は6月末日までに河合事務局長に連絡し、詳細な内容を確認して下さい。

## 編集後記

行事が続いたこともあり、発刊が遅くなってしまったことをお詫びします。

雪解けが地域によって異なり、複雑な春山の状況でした。それでも立山室堂平では4月のアルペンルートの開通時には平均的に7m程の積雪があり、今なお融雪が遅れているようです。観光で注目されている雪の大谷では開通時に16mの雪壁が見られると発表していました。

富山支部では例年の山行が行われていますが、春には役員組織の変更があり、皆さん大変忙しそうです。新しい女性会員も加わり、今後の活動に活性がみられることを期待しています。

恒例の播隆祭は日程の都合で、少し遅くなり、それに伴う高頭山の登山道整備も設定されました。両日共に良い天気で、参加者も多く、新緑の快適さを味わいました。今年が29回目で、来年度は30回目にあたり、何かイベントを考えることになりました。

秋には五支部の合同懇親山行が富山支部の世話で行われます。いつもの立山ではない所として、五箇山の人形山が予定されています。

現在、立山黒部ジオパーク構想が日本ジオパークネットワークへの加盟を申請しています。山岳会富山支部会員の中にもこの推進協議会に参加している方もいます。認可が出ればこれについても記事を入れたいと考えています。

（広報委員 川田邦夫）

公益社団法人日本山岳会 富山支部会報 第96号

発行者：山田信明 編集者：川田邦夫

事務局 〒939-8095 富山市大泉中町7-52-204 河合義則

電話 076-492-3936 Eメール kawa-mori55@air.ocn.ne.jp